

Internal Throttle Kit

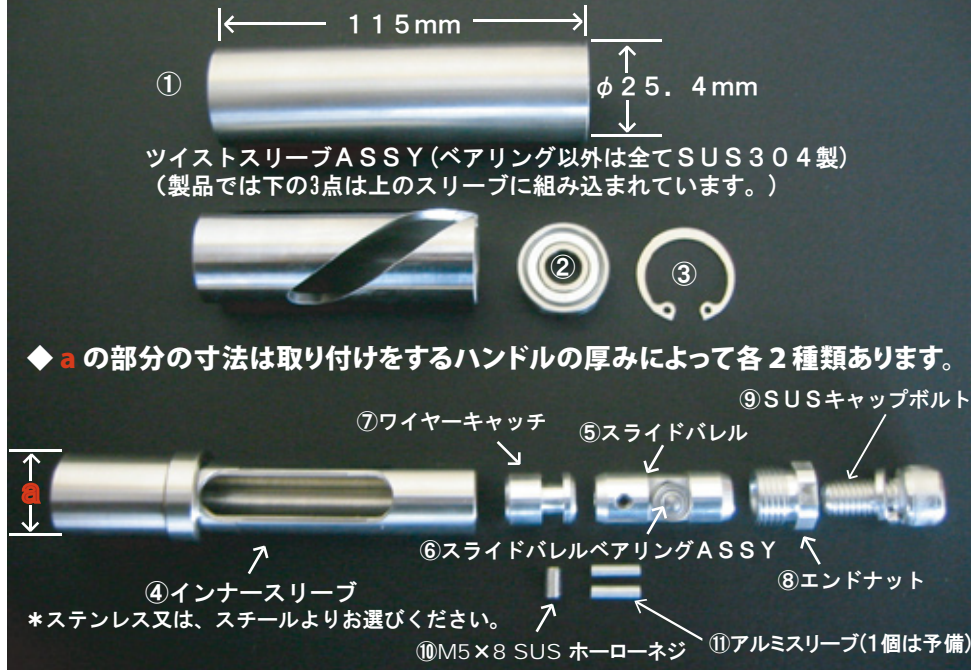
注意！ 取り付け前に必ずこの説明書をよくお読みになり作業の流れを十分ご理解のうえ作業を行ってください。

確認！ インナースリーブはaの部分の寸法がハンドル肉厚t1.5(ステンレス)、t1.6(スチール)、t2.0(ステンレス/スチール)用があります。

取り付け前に取り付けるハンドルとインナースリーブの径をよくご確認ください。

KIT内容

全ての部品が補修部品として設定されますので安心して長くお使いいただくことができます。



注意

※この度はポッシュ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この商品の取り付け、ご使用にあたり下記事項をよくお読みの上、取り付け前に商品の内容を確認してください。尚、万一お気付きの点がありましたら販売店にご相談ください。また、下記事項を怠ると死亡事故または重大な人身事故を引き起こす可能性がありますので十分ご理解のうえ確実に実施し、ご使用ください。

*この商品の取り付け作業には専門知識と高い溶接技術が必要です。

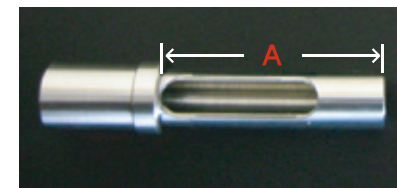
*この商品は防水防塵ではありません。 確実なスロットルワークが行えるように定期的なメンテナンスを必ず実施してください。

*取り付けに伴うスイッチ類の移設の際には、万が一走行中にスロットル操作に不具合が出た場合等に、すぐにエンジンを停止できるようキルスイッチ(エンジン停止スイッチ)を乗車時にすぐ操作が出来る場所に必ず取り付けしてください。

以上のことを必ずお守りください。

正しい取り付け、取り扱いが守られない使用においての商品の品質については保障しません。また当社製品の品質に付いてのみ責任を持つものであり、修理工賃、整備費用やお車を使用できなかったことによる不都合及び損失等、当社製品以外のどのような事柄に対しても一切の責任は負いませんのでご承知おき下さい。

警告/重要！ 取り付け後、メッキ処理をする場合は下記Aの部分をもスキミング処理等をし、極力メッキが付かないようにしてください。そのままメッキ処理をしまうと各製品の公差範囲を超え部品が取り付けなくなる場合があります。また、メッキ後に再度⑤の確認作業を必ず実施し、スムーズに動か必ず確認し、少しでも引っかかりを感じたら原因を追究し完全に修正してください。怠ると、操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。



重要！ キャブレター車に取り付ける場合、取り付け前にエンジンを十分暖機し、通常走行するときの最も低いアイドル回転数(任意又は規定値)にキャブレターを調整しておいて下さい。最後の調整作業がスムーズに行えます。

補修部品 (全て1個の価格です。)	
品名	税込価格(本体価格)
①ツイストスリーブASSY	¥12,810-(¥12,200-)
②ツイストスリーブベアリング	¥714-(¥680-)
③ツイストスリーブスナップリング	¥200-(¥190-)
④インナースリーブ スチール	¥12,390-(¥11,800-)
④インナースリーブ SUS304	¥12,390-(¥11,800-)
⑤スライドバレル	¥2,835-(¥2,700-)
⑥スライドバレルベアリングASSY	¥1,575-(¥1,500-)
⑦ワイヤークャッチ	¥840-(¥800-)
⑧エンドナット	¥1,890-(¥1,800-)
⑨M8 SUSキャップボルト	¥189-(¥180-)
⑩M5×6 SUS ホーローネジ	¥63-(¥60-)
⑪アルミスリーブ	¥84-(¥80-)

WPC+MOS2 処理について

スライドバレルにジュラルミン系の17Sを採用し、本体の表面にWPC+MOS2処理を施すことで摺動抵抗を減らし、高精度、高性能な国産ミニチュアベアリングを2個採用する事でスライドバレルのスムーズな動きを作り出します。

WPCとは？

処理をすることで表面硬度が上がり、じん性のある材質へと変化させる事によって、強度、耐久性を大幅に向上させることができる処理です。

MOS2とは？

母材表面層部を熱で溶融し二硫化モリブデンを母材深部(4.3μm)まで取り入れ再結晶します。その為、摩擦に対して非常に強く、剥がれず、摺動抵抗低減効果の高い状態を長時間維持する事が可能です。又、摩擦によって母材が磨耗しても二硫化モリブデン層が転移する摺り込み現象がおこり生涯にわたって効果が維持する処理です。

Installation for Internal throttle kit

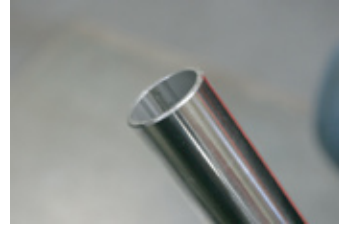
① ハンドルの切断



スロットルキットを取り付ける方のハンドルを端から109mmのところまで切断します。

注意！ 今後の作業のために取り付け部周辺をキレイにしてください。

② 面取り



溶接に備えて切断面を面取り(C面)します。この時パイプ肉厚の半分位までは確実に面取りをしてください。

⚠警告/重要！

メッキのハンドルに取り付ける場合はこの段階で溶接部分付近のメッキを全て剥がして下さい。怠ると溶接の品質が低下し操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

③ インナースリーブの取り付け



重要！重要！

ハンドルの内面にシーム(溶接合わせ面)が出ている場合は、シームを取り除いてから作業してください。

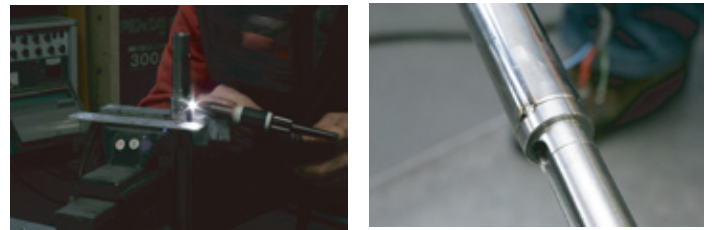
インナースリーブをハンドルに差しこみます。きついときはプラスチックハンマー等で圧入します。

* どうしても入らない場合は、旋盤等で確実にセンターを出してから圧入できる程度に削ってください。

* インナースリーブはハンドルを車体に取り付けた際に若干手前に長穴がくるようにセットしてください。

* ハンマーなどで圧入する際にパイプエンドは絶対にたたかないでください。インナースリーブが変形します。

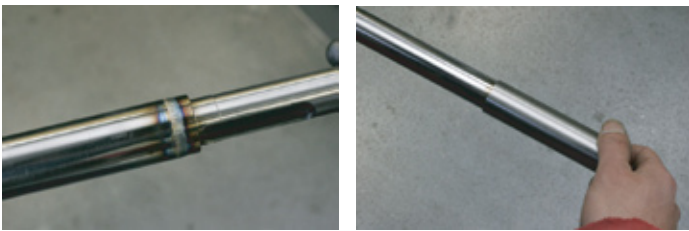
④ スポット溶接



しっかりとセンターを出し等間隔に3点～4点スポットにて位置決め溶接をします。

⚠警告 センターがしっかり出ている事を確認しながら慎重に作業をしてください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑤ 溶接/確認作業



全周溶接をし、エンドナットを組み込みSUSキャップボルトにて、スパイラルスリーブを取り付け、引っ掛かりがなくスムーズに動く事を確認してください。

⚠警告 少しでも引っかかりを感じたら原因を追究し完全に修正してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑥ 穴あけ/タップ加工



長穴部分の端(ハンドル側)から $a=16\text{mm}$ のところにて $\phi 4.2$ (M5の下穴)の穴をハンドルに対して垂直に明け、M5×0.8のタップ加工をします。

注意！ 穴の向きはハンドルを車体に取り付けた際に目立たないところに任意であけてください。

* ハンドルの内側に出来たバリを取り、タップ加工後M5×6のホーローネジがスムーズに取り付けられる事を確認してください。

⑦ スロットルケーブル給油作業



ワイヤーインジェクターなどを使用しスロットルケーブルにたっぷり給油をします。

⚠警告 ケーブルへの給油作業は必ず実施してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑧ スロットルケーブルの取り付け

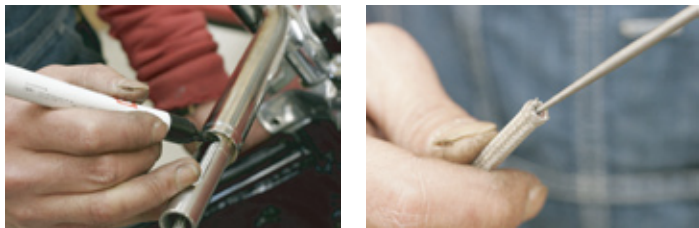


穴あけ例

ハンドルの任意の場所にスロットルケーブルを通す穴を明け、キャブレター又はインジェクションからの取り回しを決めケーブルを通します。

⚠警告 ケーブルの取り回しは、ハンドルを左右に切っても負担がかからないように余裕を持って取り回しをしてください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

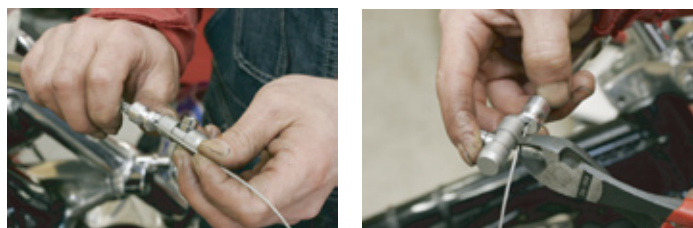
⑨ スロットルケーブル(アウター)の長さ調整



スロットルケーブルが長い場合は任意の位置に印を付けカットします。この時インナーケーブルはカットせずアウターのみカットしてください。

△警告 カットの際にケーブルが変形してしまった場合は、切り口をキレイにし、変形等を完全に修正してください。必要があれば再度給油作業を行ってください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑩ スロットルケーブル(インナー)の長さ調整



キャブレター又はインジェクションにインナーワイヤーを取り付け、ワイヤーキャッチを通してから、遊びがなくなるところまでインナーワイヤーを引っ張り、12mmの所でカットします。

△警告 ワイヤーキャッチ取り付けの際に十分奥まで差し込まれているか確認してください。カットの際にインナーワイヤーがほつれた場合は完全に修正してください。

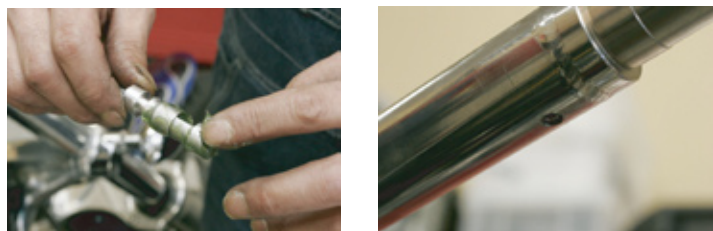
⑪ インナーバレルの取り付け



- 1) キャブレター又は、インジェクションからインナーワイヤーを外し、インナーワイヤーをフリーの状態にします。
- 2) インナーバレルにアルミスリーブを差し込み、上下のホーローネジを均等に締めて軽く固定します。
- 3) インナーバレルにインナーワイヤーを12mm差し込み、どちらか一方のネジを締めてインナーワイヤーを固定します。

△警告 インナーワイヤーを差し込む際にワイヤーがほつれないように慎重に作業を行ってください。また、インナーワイヤーがしっかり固定されている事を十分確認してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑫ ワイヤーキャッチの固定

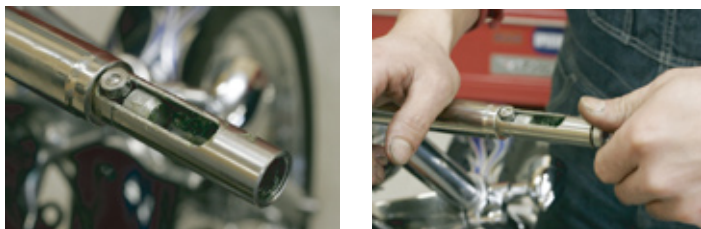


- 1) インナーバレルよりベアリングASSYを取り外し、インナーバレルにたっぷりとまんべんなくグリスを塗ります。
- 2) ⑥であけたハンドルの穴とワイヤーキャッチの溝が合うところまでスロットルケーブルを押し込みます。
- 3) M5×6のSUSホーローネジでワイヤーキャッチを固定します。

△警告 ベアリングを取り外す際にきつい場合はプライヤー等を使用し外してください。この時ベアリングになるべく負荷をかけず、傷がつかないように慎重に作業してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

注意! ホーローネジが少し沈むまでねじ込めているかを確認してください。

⑬ ベアリング／エンドナットの取り付け



- 1) スライドバレルと、インナースリーブ内側にもう一度たっぷりグリスを塗ります。
- 2) ⑫で外したベアリングがスムーズに回転する事をよく確認し、スライドバレルにベアリングが着座するまで圧入します。
- 3) エンドナットをスパナ等の工具を使ってしっかり締めこみます。

△警告 ベアリングの動きに少しでも引っかかりを感じたら使用しないで下さい。また、ベアリングASSYが確実にインナーバレルに着座している事を再度確認してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

⑭ ツイストスリーブASSYの取り付け

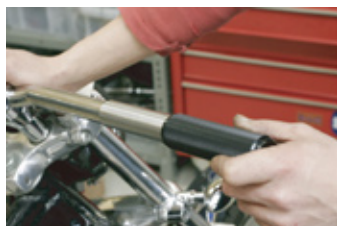


ツイストスリーブ内側にたっぷりとまんべんなくグリスを塗ります。M8 SUSキャップボルト、スプリングワッシャーにてツイストスリーブASSYを固定します。

△警告 ツイストスリーブASSYを固定後、数十回程度、全開全閉操作を繰り返し、不具合がないか確認しながらグリスを馴染ませます。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。

注意! グリスが馴染むまでスロットルの戻りが悪い場合があります。

⑮ グリップの取り付け／確認作業



- 1) グリップを取り付けます。
- 2) エンジンを始動させ、ハンドルを左右に切ってみて不具合がなければ作業は終了です。

△警告 不具合がある場合は直ちにエンジンを停止し、原因を追究して完全に修正してください。怠ると操作性に悪影響を及ぼし大変危険です。